

4. 地表の変化

【1】地形を変える作用

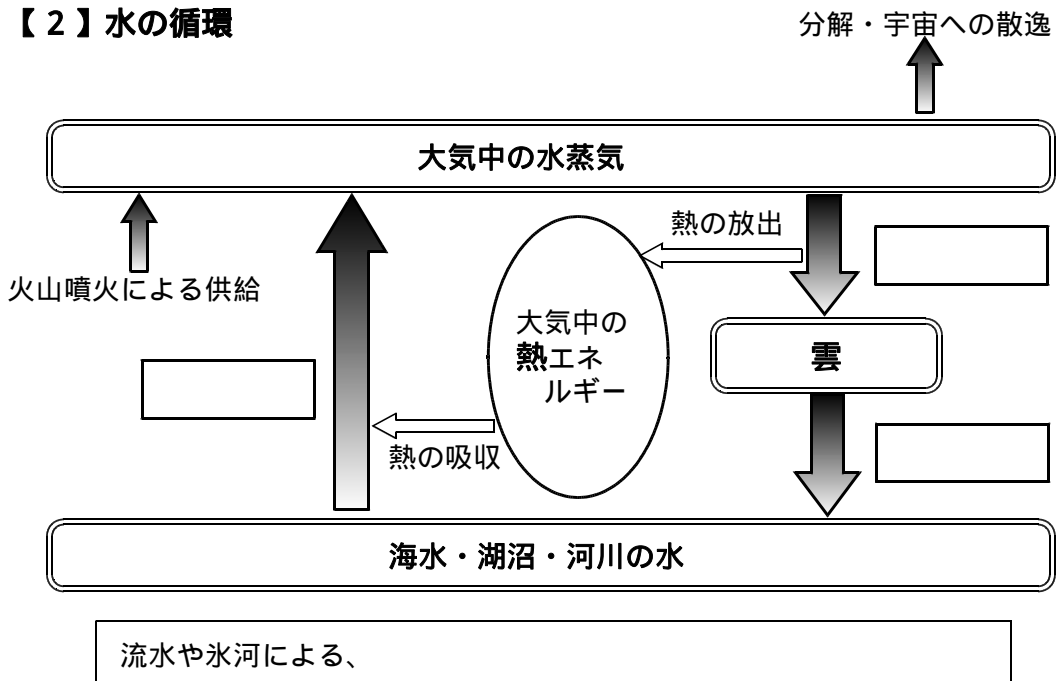
マントルブルームやプレート運動が作る地形

マグマのわき出し部	
ホットスポット	
プレートの衝突部	
プレートの沈み込み帯	

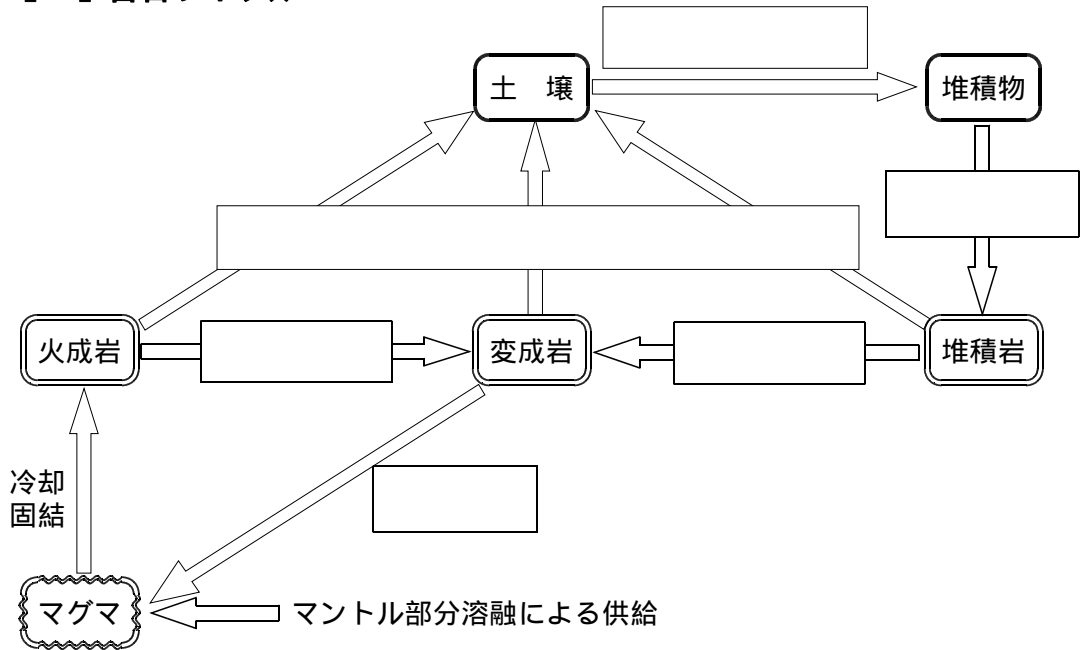
流水や氷河が作る地形

河川的作用による地形	
氷河的作用による地形	
海水的作用による地形	
海水準変動による地形	

【2】水の循環



【3】岩石サイクル



【4】地表の変化と平衡

日本はプレート境界付近にあり、一般に地形は急峻である。侵食作用を上回る隆起を続けている山脈では()や()などの険しい地形が形成される。プレート境界から遠い大陸内部には、広い()や緩やかな起伏を持つ()の山々が見られる。

火山活動や地殻変動に伴う褶曲活動・断層活動など、地表の起伏を増す方向の変化は、()がもとになって起こる。一方、侵食・運搬・堆積など、地表の起伏をならして平坦化する方向の変化は、()の運動によるが、それは結局は()がもとになって起こるものである。多様な地形はこれら二つのエネルギーが()を保とうとしている姿とも言える。

